

# 来週の「売り物記事」はこれ



2018年2月23日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 井川慶 現役にこだわる野球道

25日(日)



球春到来を告げるプロ野球春季キャンプの華やかさの陰で、一人でトレーニングに励む投手がいます。阪神をリーグ優勝に導き、米大リーグ・ヤンキースでも勝利を挙げた井川慶(38)＝写真中央＝。「球界の異端児」と呼ばれた阪神時代、異国で繰り返した挫折、さらに独立リーグで野球を続ける道を選び所属球団のない現在……。「現役続行」を目指す左腕の野球道を追いました。筆者は大阪運動部の田中将隆記者です。



## 女性たちが熱い支持、フォトエッセーもベストセラー

### 奇跡のアラフィフ・石田ゆり子さん なぜ人気?

夕刊特集ワイド 26日(月)



「奇跡のアラフィフ」と呼ばれています。女優の石田ゆり子さん(48)＝写真＝です。1月末に発売されたフォトエッセーは売り切れ店が続出し、ベストセラーの勢い。写真投稿サイト「インスタグラム」のフォロワーは100万人を超えます。注目すべきは同性からの人気の高さで、オリコン「女性が選ぶ“理想のオトナ女子”ランキング」では堂々の1位です。石田さんにひかれる現代人の心理とは何なのか。探ってみました。

## 人手不足の日本社会

### 外国人労働者と共存する知恵は

オピニオン面 [論点] 28日(水)

日本は少子高齢化で人手不足が深刻になっています。経済界などが期待を寄せるのが外国人労働者の存在です。政府が進める高度技能者や留学生の受け入れに加え、雇用条件の改善や技能実習制度の活用で年々、日本に暮らす外国人は増えています。しかし、長期滞在に伴う課題も残っています。グローバル化時代に外国人と共存していく知恵とはどのようなもののでしょうか。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

## 私の胸のうち

週刊 サラダぼうる

A面 26日(月)



読者が赤裸々な胸のうちを語る投稿コーナー。今回のテーマ「長生きっていいこと？」には過去最多の投稿が集まりました。介護や終末期の苦勞、経済的な不安など切実な声が多い一方、90歳を過ぎても元気な母を手本に、長生きをしたいという意見も寄せられました。人生100年といわれる時代、ただ長生きするのではなく、どうやって生きるかが重要です。

## 自宅の補修術

くらしナビB面 27日(火)

春は大勢の人が新しい生活をスタートします。心新たに臨むためには、住まいをきれいに整えることが重要です。しかし、床や壁などの傷は気づいたらすぐ対処しなければ、見栄えが悪くだけでなく、症状も悪化していきます。けれども専門業者に頼むと、費用も時間も必要。自宅で簡単にできる補修はどのようにすればよいのか、専門家が具体的にアドバイスします。



## 企業主導型保育の現状

くらしナビA面 3月1日(木)



企業が女性の働き方の多様化や人手不足対策として、自社で従業員のために運営する企業主導型保育施設が、国の後押しもあり広まっています。親にとって、働きやすさや預けやすさの点でメリットはありますが、専門家からは「子どもにとってどのような環境が良いのか」という視点がおそろかになっているとの指摘もでています。現状と課題を報告します。

## 変革「伊藤忠商事」 (第6部)

2面に連載

時代の波にもまれる企業の姿を描く「変革」第6部(全20回)がスタートします。第6部は総合商社の伊藤忠商事。世界を舞台に食料や繊維、機械などさまざまな分野で事業を展開し、2015年度には悲願の業界首位に躍進しました。最前線で奮闘する商社マンの姿や、岡藤正広社長のリーダーシップの下で進められる働き方などの大胆な改革に迫ります。



## 超人とともに 平昌パラリンピック企画

社会面 28日(水) から3回



多くの興奮と感動を生んだ平昌冬季五輪に続き、平昌冬季パラリンピックが3月9日に開幕します。20年前の1998年に行われた長野大会の時代に比べ、日本選手たちを取り巻く練習環境や雇用の状況は劇的に改善されました。健常者のアスリートに近い支援体制が整っているケースも少なくありません。企画「超人とともに」では、障害者アスリートが所属する企業や自治体、そして国などの取り組みを課題とともに取り上げて、障害者スポーツの今を紹介します。